



富士山測候所は9月11日に閉所し、71日間に渡る夏期観測活動を終了しました

認定NPO法人富士山測候所を活用する会（以下「本NPO」）は、9月9日（土）に予定していた富士山測候所の閉所を台風接近の影響により延期、9月11日（月）10時10分、測候所の商用電源を切り、2023年の夏期観測を終了しました。17年目の夏期観測となった今年は、過去最長となる71日間の観測期間に、のべ447人の研究者が31プロジェクトを実施しました。

2023年夏期観測の研究成果は、本NPOウェブサイトで順次速報するほか、2024年3月開催予定の第17回成果報告会で発表いたします。

本NPOは、気象庁から富士山測候所庁舎の一部を借り受け、公募で選ばれたグループの研究・活用に毎年夏期観測期間（7月－8月）に提供しています。

2023年夏期観測の主なプロジェクトとして、

研究部門では、①大気中のマイクロプラスチックの観測、②その他窒素酸化物、PM2.5などの大気化学観測、③微生物氷晶核などの大気生物学集中観測、④雷の観測、⑤富士山頂および山麓における単一雲滴採取分析。活用部門では、①気象の変化による富士登山者の動態調査、②富士山頂AIセミナー、③富士山頂におけるライブカメラの通年実証実験などが行われました。

今年度のプロジェクトの一部は、下記の企業・団体（敬称略・順不同）の助成により実施されました。

一般財団法人新技術振興渡辺記念会からの受託事業、日本たばこ産業株式会社「SDGs貢献プロジェクト」、日本科学協会「笹川科学研究助成」、ヤフー株式会社「Yahoo!基金」、および一般財団法人WNI気象文化創造センター「気象文化大賞」

広報関連のニュースとして、山頂ライブカメラのYouTubeチャンネル登録者数が2200人を超え、視聴回数は34,000に達し、多くの方に閲覧していただきました。

また、越冬期間中、低ビットレートの画像送信を可能にしたカメラを設置し、1時間に1回静止画を伝送するプロジェクトの試験運用を開始しています。



8月24日 大気グループ撤退

■ 本件に関するお問い合わせ先

認定NPO法人 富士山測候所を活用する会事務局

TEL：03-6273-9723

E-mail：tyo-ofc@npofuji3776.org